

# マリンライフ

[ Vol. 287 ]



カキ筏の中を泳ぐヒガンフグ

## 牡蠣筏に集まる生き物たち

江田島の海でよく見かける「牡蠣筏（かきいかだ）」。その下がどうなっているのか、想像したことはありますか？今回、深江漁協さんや牡蠣養殖業者さん、ダイビングショップ NAGI さんの協力を得て、実際に筏の下に潜り、生き物の調査を行いました。調査した筏は、岸から約 200m、水深 17m の場所にあります。筏には垂下連が約 6m の深さまで吊り下げられており、牡蠣筏の下には海に浮かぶ大きな箱のような空間ができていました。

## まるで海に漂う磯！

筏の下では、クロダイやフグなど、海を泳いできたと思われる魚が見られた一方で、アカオビシマハゼのように、磯（岩の多い海岸）の岩のすき間でくらす小さな魚や、ムラサキウニ、クロミドリガイといった、遠くを泳いで移動するとは考えにくい生き物もたくさんいました。それらの生き物を見ると、牡蠣筏が磯のような場所になっていると感じました。

## 筏の下の生態系

カキの表面には、ホヤやカンザシゴカイの仲間、海藻など、さまざまな生き物が付着していました。ホヤやカンザシゴカイの仲間は、海の中の小さなえさ（プランクトンなど）を食べてくらししています。その周りでは、ワレカラやヨコエビといった小さな生き物も見られました。こうした小さな生き物は、カキや付着した生き物、海藻のまわりをすみかや餌場として利用していると考えられます。

さらに、それらの小さな生き物をえさとするハゼなどの魚が集まってきます。クロダイのように、カキやその周りの生き物を食べにやってくる魚もいます。実際に、養殖中の小さなカキがクロダイなどに食べられることは、養殖の現場でも知られています。

カキそのものが他の生き物のすみかとなり、また、カキやその周りに集まる生き物が別の生き物のえさにもなっています。牡蠣筏は人が作った養殖施設ですが、その下には自然界と同じように、「食う・食われる」の関係や、「すみか」をめぐる関係が広がっており、多くの生き物を支える『生態系』ができあがっていると考えられます。



カキに付着する生き物たち



ワレカラの仲間



ムラサキウニ



カキの表面にいる  
アカオビシマハゼ



クロミドリガイ



カキの影にいる  
アミメハギ

# 新たな機器を導入しました！



水中カメラ一式



水中カメラ使用の様子



大判プリンター



印刷物の例

大新グループさんからの寄附を活用して、今年度、新たに「水中カメラ一式」と「大判プリンター」を導入しました。

水中カメラは、1 ページ目の牡蠣筏調査でも紹介したように、普段見ることのできない水中の生き物の様子や環境を記録し、展示や解説に活用していきます。これまでも水中ドローンを使って水中の様子を伝えてきましたが、今回導入したカメラは、ワレカラ（1 ページ参照）のような小さな生き物でも直接近づき拡大して撮影できるため、これまで以上に生き物がくらしている様子を詳しくみなさんに紹介できるようになります。

また、大判プリンターは、B0 サイズ（幅 1030mm）までの印刷ができるため迫力のある大型パネルや掲示物、のぼりなどの作製が可能になります。これらの機器を活用し、館を利用されるみなさんに、楽しく学んでいただける展示づくりに活かしていきたいと思っております。ありがとうございました。

## 完成！「令和 8 年度版」 海辺の生き物 イラストカレンダー

令和 7 年度「ふるさとの自然」作品コンクール入賞作品 80 点を掲載したイラストカレンダーが完成しました。このカレンダーは、作品コンクール入賞者のみなさんにプレゼントするとともに、市内の小中学校、公共施設等に配布しておりますのでご覧ください。

なお、このカレンダーをご希望の方は、さとうみ科学館事務局までお問合せ下さい。

さとうみ科学館事務局で配布中



# 1年間の活動報告

## メッセージ | 向井 綾香

こんにちは！あっという間に着任から1年が経過しました。現在は「里海」を軸とした地域ブランディングをミッションに活動しています。初年度は、まず江田島市を深く知ることからスタートしました。市内すべての小中学校が取り組む「さとうみ学習」の推進や、市外の方を対象とした「里海」をテーマとするツアーの企画・開催など、現場での実践を積み重ねてきました。



### 活動1

## 子どもたちの海の授業「さとうみ学習」を取材！

小中学校が取り組む「さとうみ学習」の取材を行いました。授業の取材は28件、教員向けの研修を5回実施、4校と連携しコーディネーターとして関わりました。江田島市の子どもたちは、海の生き物や海での遊び方にも詳しく、驚きました。先生たちも工夫をしながら、子どもたちのふるさとの海の学びを作られていました。江田島市ならではの教育づくりをこれからも広げていけるよう頑張ります！



### 活動2

## 江田島市の海の本「えたじまさとうみぼん」の制作

約10ヶ月のプロジェクト！子どもたちがふるさとの海を身近に。そして、安全に楽しめる「えたじまさとうみぼん」の制作を行いました。内容は、教育委員会・さとうみ科学館の皆さんと一緒に考えました。そして、表紙のイラストは市内の子どもたちと一緒に作りました。来年度の4月から小中学校で配布をされます！この本を持って子どもたちが海を楽しんでもらえたら嬉しいです。詳しくはまた紹介します！

### 活動3

## 大人も学ぶ「里海」をテーマにしたツアーの開催

県外の方をお呼びして、里海をテーマとした視察ツアーを行いました。宮城県松島からは牡蠣殻を使ったアクセサリを作るアーティストさんと沖山工房さんの交流の機会を作りました。また、関東・関西・四国からは8名の経営者の皆さんが来島し江田島市の教育資源を学ぶ「大人の里海学習」ツアーも開催しました。里海をテーマに充実した学びの場となりました。



## わたしも江田島市の里海を楽しみました！



### はじめての釣りに挑戦！

はじめての釣りでカワハギが3匹釣れました！！とても美味しくいただきました。肝…最高に美味しかったです。今年は一人で捌けるようになりたいです！



### 本気のSUPにも挑戦！

江田島市で開催されるパドルリレーにも参加しました！穏やかな波を楽しむ遊びかと思いきや、とてもハードでびっくりしました。今年は、ターンを習得したいと思います！！



### 推しは、マダコです。

さとうみ科学館に展示されているマダコ君は近寄ると貝殻から出てきて挨拶をしてくれ、癒されます。ぜひ、来館された際は挨拶を試みてください！

◆第212回自然観察会◆

# 「目指せ親休鼻」

～ 人が行かない秘境の海岸には  
どんな生き物がいるのだろう ～

野外観察シーズン到来です。これから夏にかけて昼間によく潮が引くので、海辺の生き物観察には最適です。今回は釣附海岸をスタートし、歩いて岬の先端を目指しながら生き物を探します！きっと楽しい発見が待っていますよ！！

日 時：令和8年4月18日（土）  
14：30～17：30  
（干潮時刻 16：15 -11cm）

集 合：さとうみ科学館（14：30）

観察場所：大柿町深江釣附海岸

※観察場所までの移動は各自でお願いします。  
※海岸までの道は少し狭くなっています。

申し込み：LINE 申込フォームまたは電話にて



申込用  
QRコード

4月16日（木）までにご連絡下さい  
※観察場所付近の駐車スペースには限りがありますので、申し込み多数の場合は期日前に申し込みを締め切る場合があります。



☆持ってくるもの☆  
○ぼうし ○軍手 ○長靴  
○水筒（飲み物）○タオルなど

## 潮見表 4月の観察に適した日時（干潮時刻と潮位）

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
曜日	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水
時分	3:11	3:45	4:17	4:47	5:16	5:45	6:16	6:49	7:32	8:43	11:33	12:41	0:22	1:20	2:05
cm	33	38	49	64	82	102	122	144	166	183	179	154	104	81	61
時分	15:30	16:00	16:29	16:57	17:24	17:51	18:19	18:52	19:33	20:39	22:44		13:21	13:55	14:29
cm	40	27	20	18	21	31	45	65	89	112	120		124	92	60
	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
曜日	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木
時分	2:45	3:24	4:03	4:42	5:22	6:05	6:52	7:54	9:27	11:10	12:21	0:22	1:20	2:06	2:45
cm	48	44	50	65	87	112	139	161	170	157	131	95	87	82	82
時分	15:04	15:39	16:15	16:53	17:31	18:13	19:00	20:01	21:28	23:05		13:10	13:50	14:26	14:58
cm	30	6	-11	-17	-11	6	33	64	90	99		102	75	53	37

cmの数字が小さいほど、よく潮が引きます。

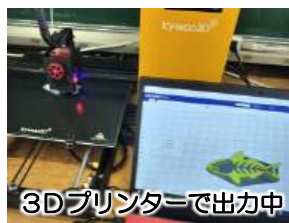
令和8年 潮汐表（海上保安庁）から

潮位30cm未満（白抜き文字）が調査に適しています。

### 事務局だより

#### ●耳石アクセサリ

先月開催した第210回自然観察会「耳石のふしぎ」では、アジの耳石を使ったキーホルダーを作りました。耳石をかわいらしいアクセサリにするため、耳石の大きさに合わせたキーホルダーの3Dモデルを作成し、3Dプリンターで型を製作しました。さらに、その型をもとにレジン製の枠を量産しました。身近に手に入るレジンを活用した、さとうみ科学館オリジナルデザインのキーホルダーは、参加者の皆さんにも好評でした。



#### ●令和8年度休日開館のお知らせ

令和8年度も、毎週土曜日に開館します。お一人でもご家族でも、お近くの方も遠方からの来館も大歓迎！！この機会にぜひご利用ください。詳しくは事務局までお問い合わせ下さい。  
開館時間9：30～17：00（入館は16：30まで）

江田島市教育委員会 教育部 大柿自然環境体験学習交流館

## さとうみ科学館

Satoumi Science Museum (SSM)

〒737-2214  
広島県江田島市大柿町深江1073番地1  
TEL：(0823) 57-2613  
FAX：(0823) 40-3100  
メール：satoumimail@yahoo.co.jp  
HP：『さとうみ科学館』で検索

### ◆事務局スタッフ◆

館長：西原 直久  
専門員：平山 良太  
主任：鎌崎 賢三  
運営指導員：下中 茂樹  
運営指導員：加島 茂樹  
支援員：木村 さつき  
副コーディネーター：向井 綾香



（友の会会員）

シニア 182名  
ジュニア 143名

◆あとかぎ◆ 牡蠣養殖では、「大量へい死」が大きな問題となっています。今回の調査で確認された生き物たちも、カキのへい死や環境の変化による影響を受けている可能性があります。里海に暮らす生き物たちに目を向けていくことの大切さを、改めて感じました。（鎌崎）